

事業区分	文化芸術事業		鑑賞事業		
事業名	NHK交響楽団演奏会 鳥取公演				
目的・内容	日本を代表するオーケストラとし、世界でも高い評価を得ているNHK交響楽団の演奏会。より多くの人にクラシック音楽の素晴らしさを感じてもらうことで、クラシック音楽ファンの裾野を広げる。 指揮：スザンナ・マルッキ、ヴァイオリン：榎本大進（ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター）				
開催日時	平成23年7月17日（日）開演18:00				
会場	とりぎん文化会館 梨花ホール				
入場料 (友の会・団体)	SS席 8,500円 (8,000円)	S席 7,500円 (7,000円)	A席 6,500円 (6,000円)	B席 4,000円 (3,500円)	高校生以下 2,000円
集客状況	入場者数	1,606名	設定席数	2,000席	集客率 80%
事業費状況	予算額	収入 12,485,000円	支出 14,661,000円	支比率 85%	
	決算額	収入 10,033,000円	支出 14,355,031円	支比率 70%	
来場者アンケート (主なもの)  回答者数 364名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とても素晴らしかった。また来年もN響を鳥取で聴きたい。</li> <li>・地方ではこのような機会が少ない中、今日のコンサートを楽しみにしていました。十分満足させていただきました。鳥肌の立つ思いで聴き入りました。本当にありがとうございました。</li> <li>・N響の響きはやはりすごいと思います。大進さんの音色は圧巻、心をゆさぶられました。</li> <li>・さすがはNHK交響楽団。特に榎本さんのヴァイオリンは二度と聴くことがないと思う。素晴らしいの一言。スザンナさん、華奢な体からダイナミックなエネルギー。演奏者と観客を一つにしてくれました。</li> <li>・実力No.1のN響はさすがですが、地方公演としては入場料が高い。</li> </ul>				
1次評価 (内部)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・N響と四季の2日連続の公演であったが、N響1,606名、四季1,488名と2つの公演で3,000名以上の入場者と高い満足度(N響87%、四季85%)を得ることができた。</li> <li>・新たな鑑賞者の開発として、ガイナレ鳥取と広報の連携を行うなど新たな取り組みを行った。</li> </ul> <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収支が当初のマイナス200万円からマイナス400万円に増加しており、今後実施する際は収支の改善、入場者増の取り組みが必要である。</li> <li>・県内音楽関係者への働き掛けが十分ではなかった。</li> </ul>				
2次評価 (財団評議員)	<p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出演者の知名度に負っている面はあろうが、やはりこういうチャンスを生かして、財団の公演として実施することは重要である。</li> <li>・一般に比べ低価格に設定したこともあって高校生以下の入場者が多く見られたことも良かった。彼らにとって良い体験になった。今後の芸術鑑賞に良い影響を及ぼすと思う。</li> </ul> <p>[課題等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート回収率については、同規模のクラシック公演では多い方だと思うが、もっと回答しやすいアンケート方法が必要かもしれない。</li> <li>・鳥取の音楽教育が充実し、県内の関心と、良質の音楽に出会う機会が増えれば、動員力もアップするはずであり、学校教育や地域あげでの取り組みが重要と考える。</li> <li>・財政的なことを考慮しなければならないが全体に価格が高くなってしまった。回数は少なくともほんとの良いものほど価格を考慮できる方策を考え、より多くの鑑賞者を迎えたい。</li> <li>・ホワイエが暑かったという指摘もあった。夏場は特に一考を要する。</li> </ul>				
今後の対応、 取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民ニーズは高いが、収支差額の大きい事業を実施する際は、収支の改善（事業協賛獲得、日本中小企業福祉財団への販促、入場料の見直し、値引き交渉、印刷物等の必要経費の縮減など）、入場者増への取り組み（財団事業において少ない観客層である20～30歳代が読む情報誌への広告掲載やソーシャルメディアの活用など）を行う。</li> <li>・公演ジャンルに係る関係者にはチケット発売前に情報を提供し、チケットの取りまとめを依頼する。</li> <li>・アンケートの回収率をアップするため、チケット割引券やグッズのプレゼントなどを行う。</li> <li>・夏場や冬場などはホール内外の温度を把握して調整し、快適な環境を提供する。</li> </ul>				